

## 4 - 2 区域別・景観軸別の展開

国道 1 号



淀川・ひらかた水辺公園



第二京阪道路



穂谷川

### (景観軸別)

(10) 国道 1 号・170 号

(11) 第二京阪道路

(12) 淀川

(13) 穂谷川

(14) 天野川

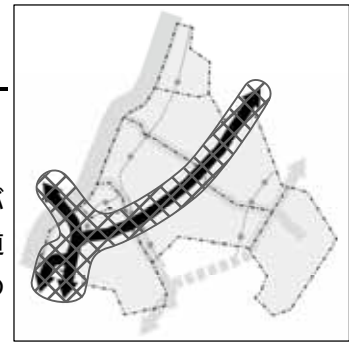
## (10) 国道1号・170号景観軸

### 課題と方向性

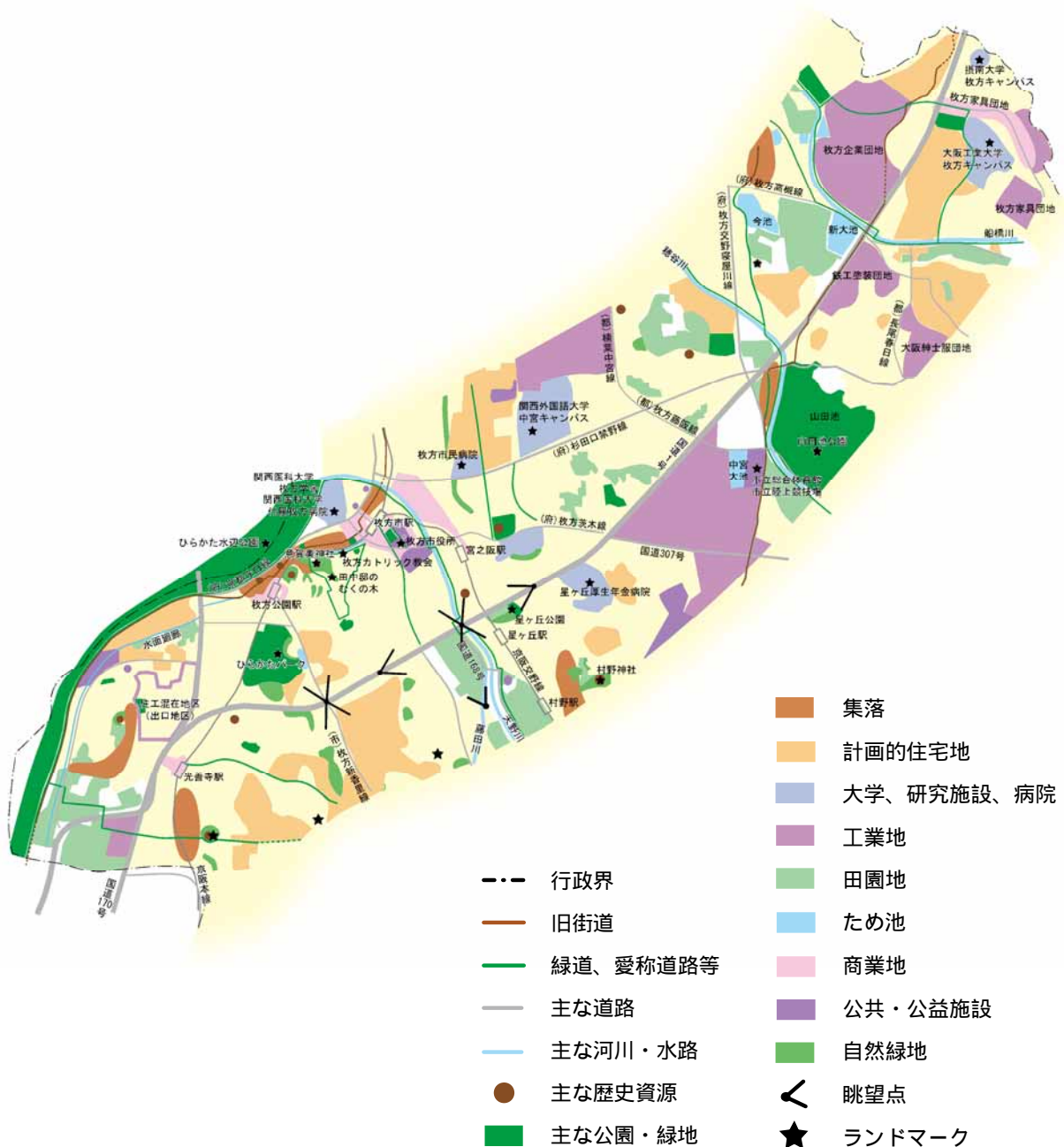
市域を南北に縦走する国道1号は、枚方市と周辺の都市圏とを結ぶ都市幹線道路です。その交通量は1日あたり約7万台にも達し、国道170号とともに車で訪れる人、通過する人が最もよく目にする枚方の一つの顔といえます。

沿道には、住宅地や農地と混在した工場、工業団地が展開し、また郊外型店舗の進出も多く、まとまりのない道路景観となっています。

今後は、都市の骨格の一つとしてふさわしい、うるおいと魅力のある沿道景観を育んでいきます。



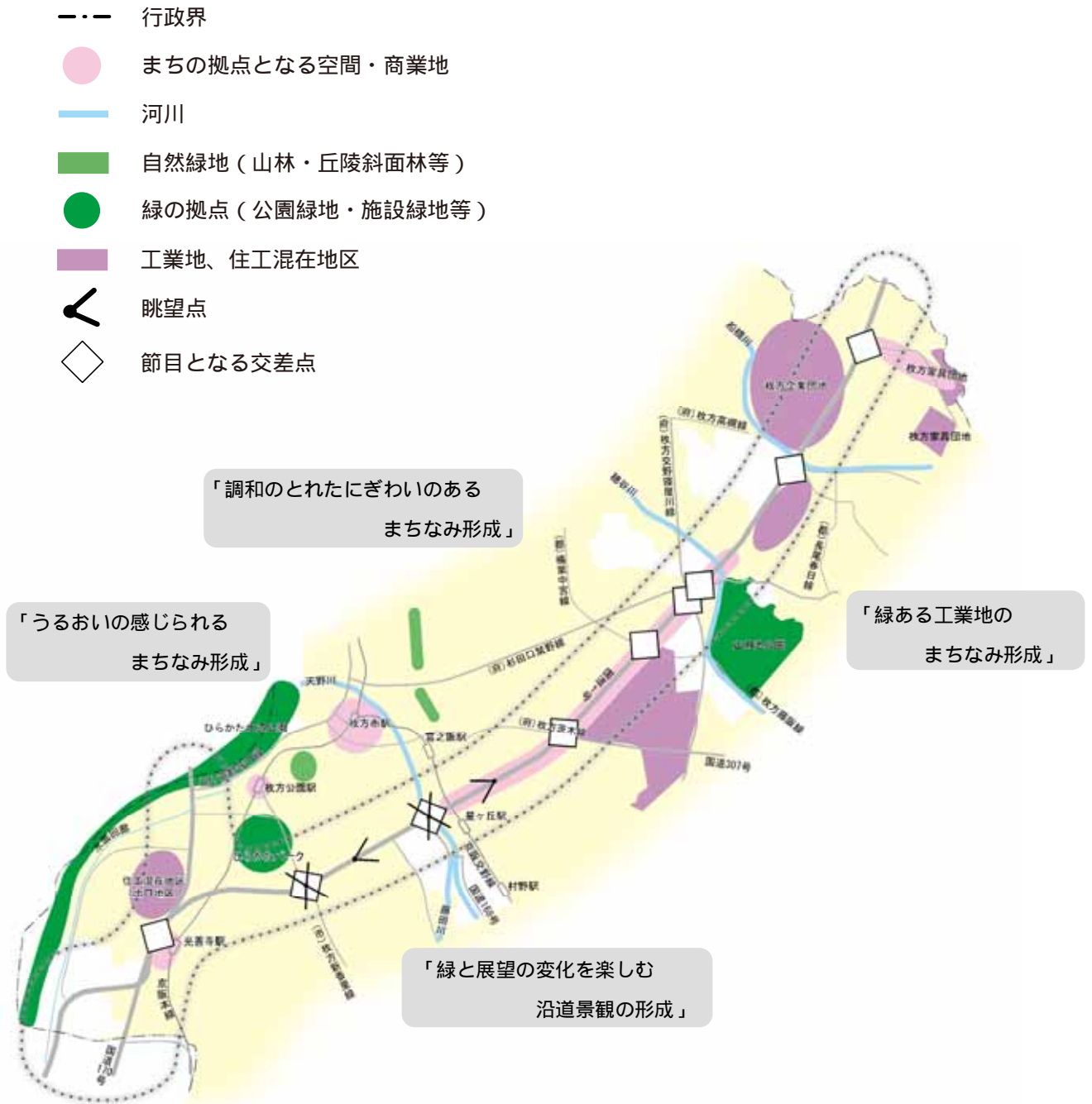
### 国道1号・170号景観軸 区域現況図



## 景観形成の方針

1. 沿道の緑と沿道施設の総合的な景観形成
2. 道路景観に変化を与える節目の修景と眺望の活用

### 国道1号・170号景観軸 景観形成概念図



## 景観形成の方向

### 「緑あふれる道づくり」

- ・沿道施設の敷際や道路の緑化を行い、連続感のある緑豊かな景観をつくります。
- ・沿道斜面地に残る樹林の保全や法面の緑化を推進します。
- ・道路沿道に整備した街路樹や民有地内の緑化推進を図ります。

### 「人を引きつける魅力ある道路景観づくり」

- ・沿道の商業施設などを魅力あるものにするために、建築物等の色彩や配置・デザインについて配慮を促します。
- ・屋外広告物の適切な規制により良好な沿道景観の誘導を図ります。
- ・主要施設への分岐点となる交差点において、シンボルツリーやサインシステムなどによる特徴づけを行います。

### 「特徴ある眺望の保全・活用」

- ・天野川段丘斜面など丘陵部で得られる幅広い眺望を確保するために沿道施設の誘導を図ります。
- ・ランドマークとなる枚方パークの観覧車への眺望を守ります。

国道 1 号の街路樹

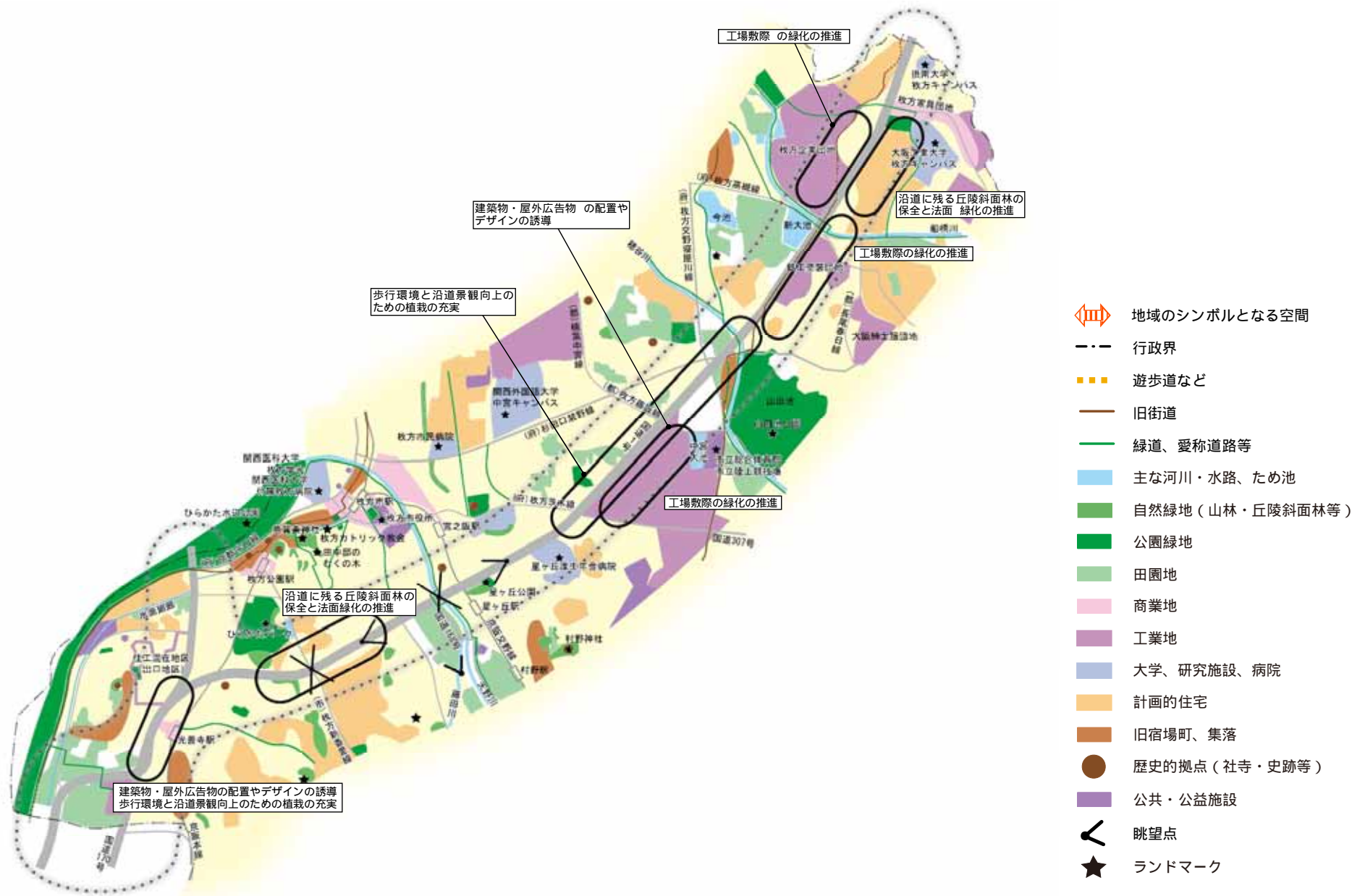


国道 1 号から望む  
ひらかたパークの観覧車



国道 1 号沿道の商業施設

国道1号・170号景観軸 景観形成構想図

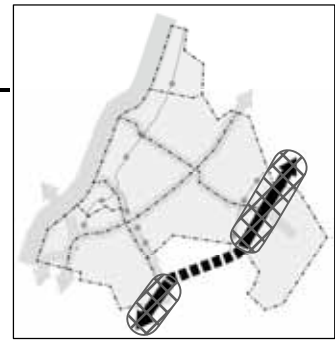


## (11) 第二京阪道路景観軸

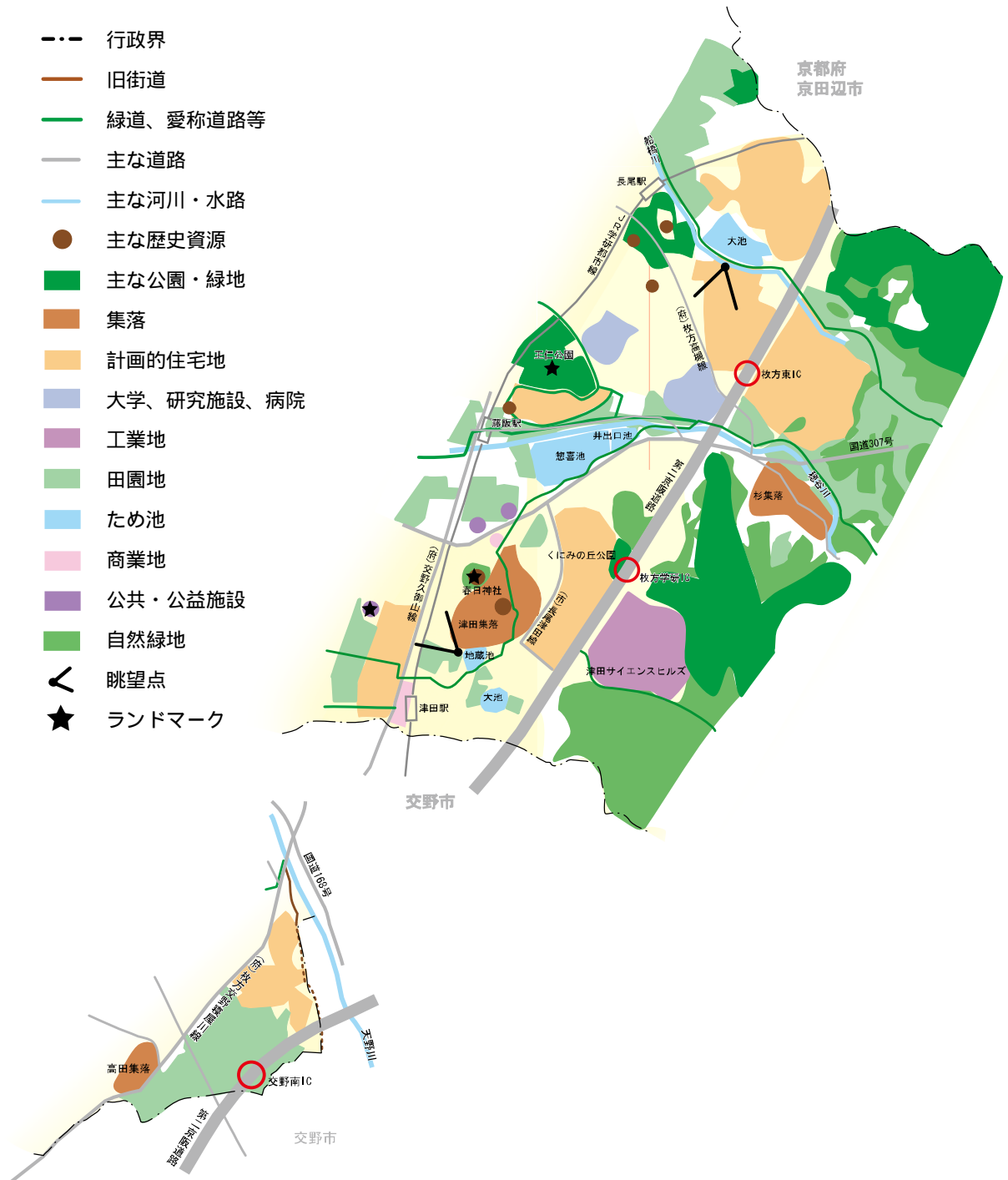
### 課題と方向性

第二京阪道路は、枚方市と大都市圏とを結ぶ広域的な幹線道路です。周辺には生駒山系の豊かな緑と閑静な住宅地、大学、津田サイエンスヒルズなどが立地し、緑量の多い景観が形成されています。

今後は山なみの緑への十分な配慮と地域軸にふさわしい景観の育成が求められます。



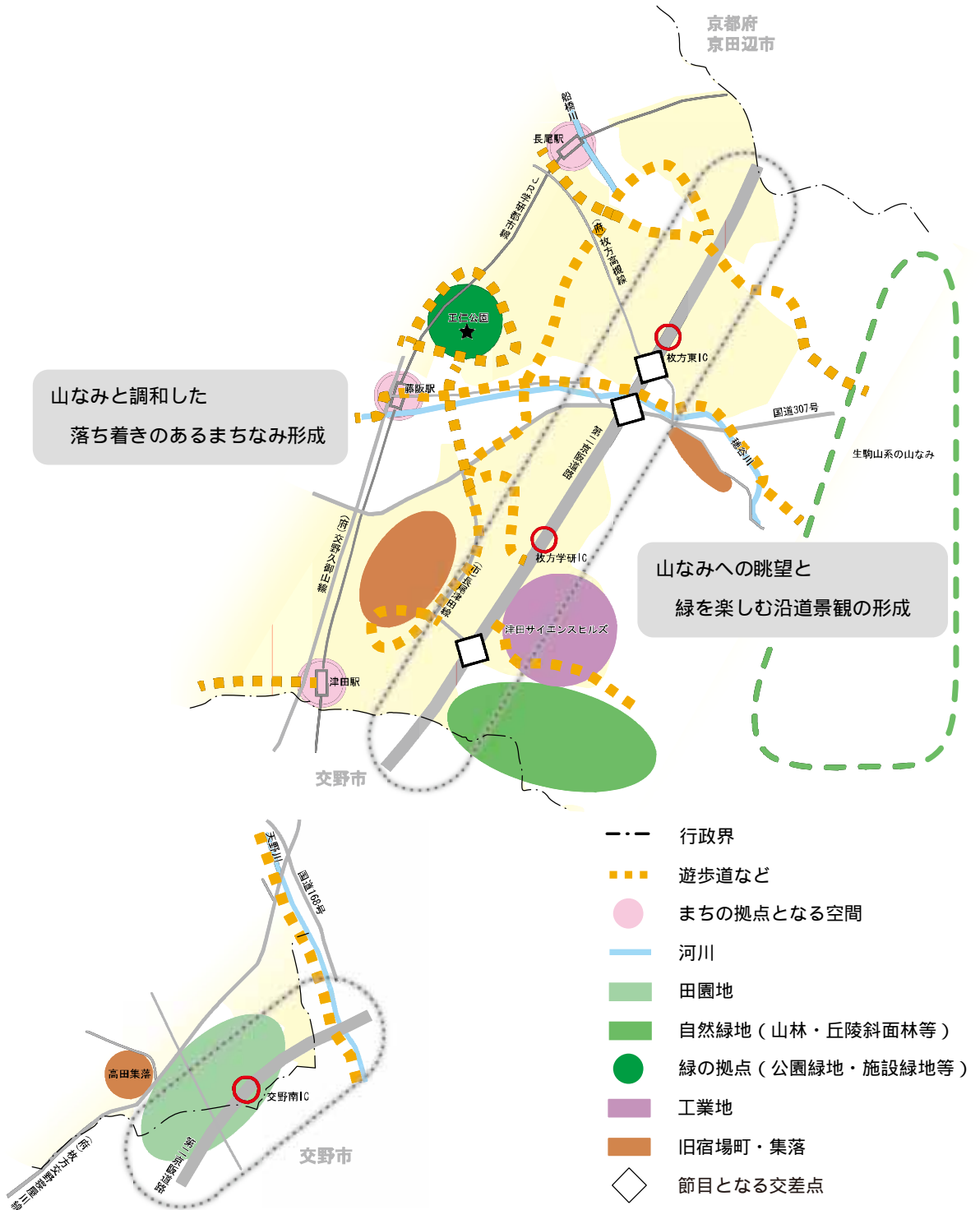
### 第二京阪道路景観軸 区域現況図



## 景観形成の方針

1. 山なみへの眺望とみどりの連続性の確保
2. 交通結節点における良好なランドマークの形成

### 第二京阪道路景観軸 景観形成概念図



## 景観形成の方向

「生駒山系の山なみに調和する緑豊かな景観形成」

- ・沿道斜面地に残る樹林の保全や法面の緑化を推進します。
- ・道路沿道に整備した街路樹や民有地内の緑化推進を図ります。

「周辺の景観資源や交通の要衝にふさわしい景観づくり」

- ・国道 307 号交差点部や枚方学研 I C、枚方東 I C 等の周辺にランドマークを形成します。
- ・周辺資源への進入路となる主要な交差点等において、シンボルツリーやサインシステムなどによる特徴づけを行います。
- ・道路と沿道建築物の敷地境界部における緑化、デザインの協調などにより、道路空間と一体となった魅力ある景観形成の推進を図ります。

沿道の遊歩道



沿道の緑化





地域のシンボルとなる空間

行政界

遊歩道など

旧街道

緑道、愛称道路等

主な河川・水路、ため池

自然緑地（山林・丘陵斜面林等）

公園緑地

田園地

商業地

工業地

大学、研究施設、病院

計画的住宅

旧宿場町、集落

歴史的拠点（社寺・史跡等）

公共・公益施設

眺望点

ランドマーク

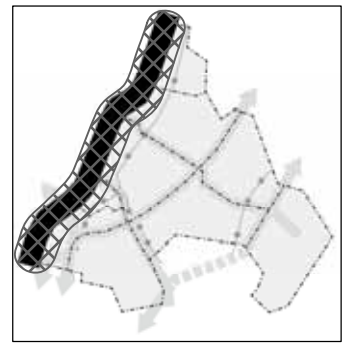


## (12) 淀川景観軸

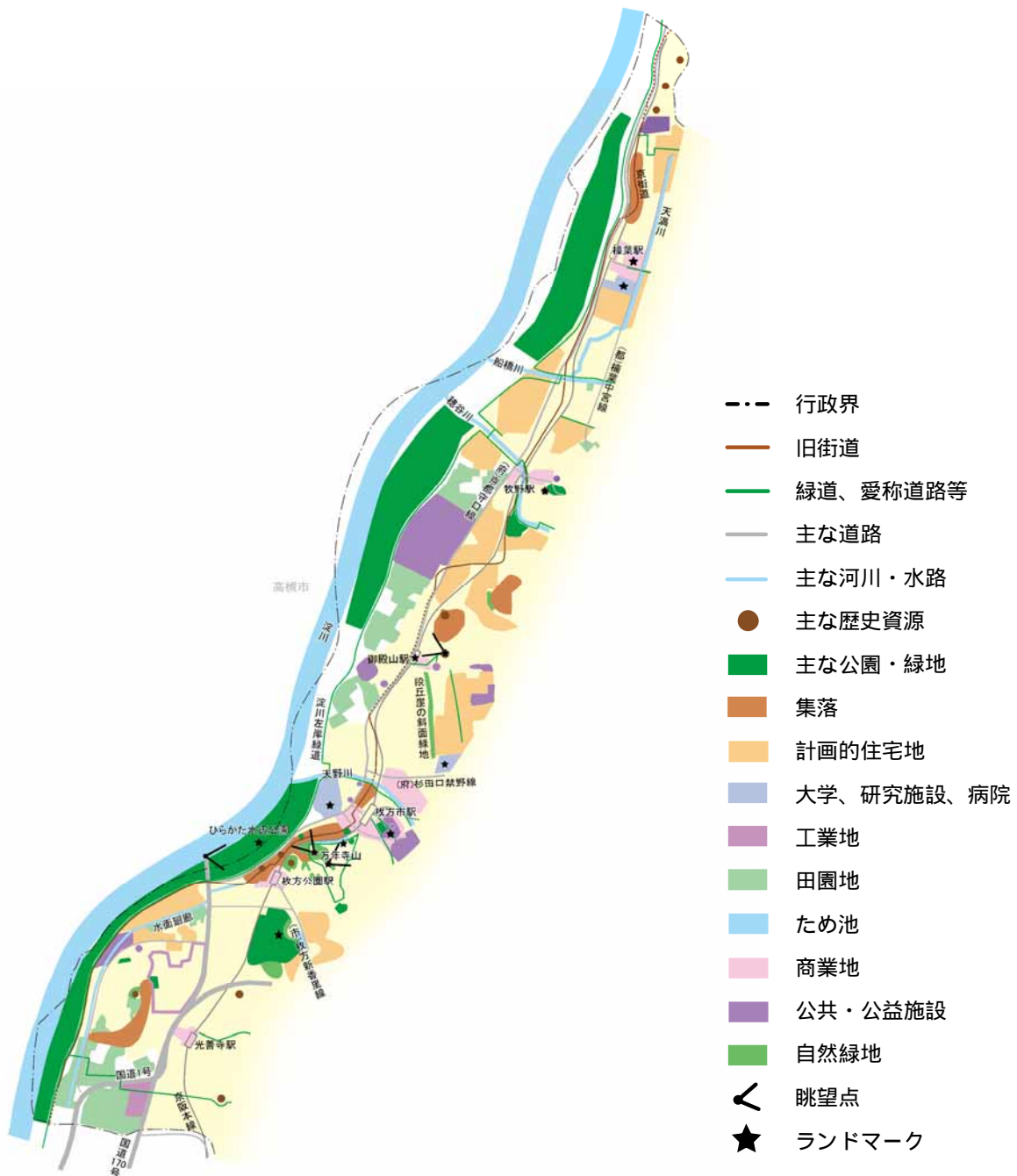
### 課題と方向性

淀川は枚方市の西部を流れる川で、河川沿いの堤防上からは、市街地や北摂・生駒の山なみを広く眺めることができます。広大で自然の豊かな空間を有しています。南部ではひらかた水辺公園が整備され、多くの市民に利用されていますが、枚方市駅や樟葉駅を中心とした市街地からは、高い堤防や道路によってアクセスが困難な状況にあります。

今後は、中心地あるいは淀川の支流となる河川軸との連携を活かしながら、アクセスのしやすい市民に親しまれる本市の象徴としての河川空間の充実を図っていきます。



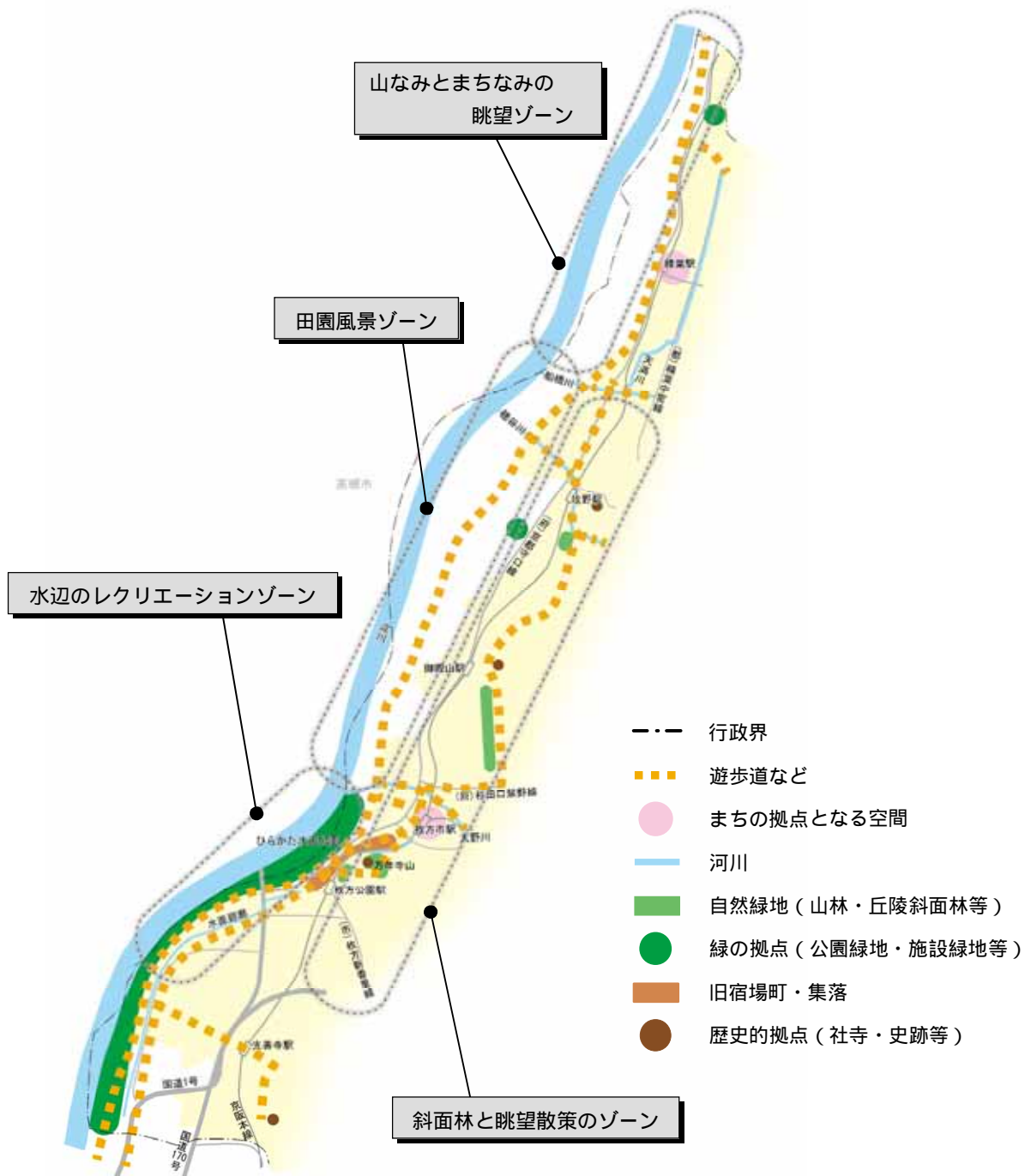
### 淀川景観軸 区域現況図



## 景観形成の方針

1. 枚方を象徴する「母なる川」としての自然景観の保全
2. 市民が身近に親しめる河川空間の形成
3. 河川に沿った斜面林の展望を活かした景観形成

### 淀川景観軸 景観形成概念図



## 景観形成の方向

### 山なみとまちなみの眺望ゾーン

淀川と沿川のまちとのつながりを深め、市民が気軽にまちなみや北摂の山々の壮大な眺望を楽しめる環境を整えます。

#### 「眺望を楽しめる空間整備」

- ・河川空間を誰もが利用できる開放感のある場として整備・活用します。

#### 「市街地からのアクセスの確保」

- ・樟葉駅や自然巡回路から淀川へのアクセスを確保します。



河川敷と街への眺望

### 田園風景ゾーン

堤防上から山と川と田園の織り成すパノラマ景観を確保し、市民に開放された河川空間の創造を図ります。

#### 「堤防上からのパノラマ景観の確保」

- ・堤防上や河川敷内を散策道やサイクリング道路、憩いの場として活用します。
- ・堤内地に展開する湿地や田園を景観資源として保全・活用します。
- ・御殿山駅から淀川へ導くアクセスを確保します。
- ・流域下水道渚水みらいセンターを市民の憩える拠点として活用するとともに、淀川へのアクセスを検討します。

河川敷のサイクリング道路



## 水辺のレクリエーション

ひらかた水辺公園や水面回廊などの水を題材に整備された施設と歴史的街道などとのネットワークを展開し、市街地から市民が容易に水辺に親しめる広大なレクリエーションゾーンをつくりだします。

### 「“水”を題材とする施設の維持・整備とネットワークの確保」

- ・誰もが水と楽しめるレクリエーションの拠点を適切に維持・整備します。
- ・駅から、ひらかた水辺公園や水面回廊、歴史的街道等へのネットワークを確保します。
- ・背景となる集落などの歴史的な景観資源を保全し、丘陵斜面林への視界を確保します。

### 【関連構想およびプロジェクト】

淀川河川公園基本計画  
街なみ環境整備事業

ひらかた水辺公園



## 斜面林と眺望散策のゾーン

まちを縁どる丘陵斜面地の樹林を保全・育成し、枚方を印象づける緑と眺望散策の軸をつくりだします。

### 「丘陵斜面林の保全・育成」

- ・枚方の市街地景観の特徴である丘陵斜面地に連続する緑の保全・育成に努めます。

### 「丘陵斜面林をぬける散策ルートを活用」

- ・丘陵の斜面林と歴史資源を楽しみながら歩ける散策ルートや淀川・北摂の山なみを眺望できる広場の活用を図ります。

淀川への眺望・万年寺山



淀川景観軸 景観形成構想図

